

「北九州市子ども・子育て支援事業計画」(令和7～11年度)(案)

1 乳児・幼児期の教育や保育の推進	
	(1)教育・保育の提供区域の設定
	(2)教育・保育の「量の見込み」と「確保の方策」
2 地域における子ども・子育て支援の推進	
	(1)地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保の方策」
	ア 妊婦健康診査
新	イ 乳幼児健康診査
新	ウ 産後ケア事業
	エ 乳児家庭全戸訪問事業
	オ 養育支援訪問事業(専門的相談支援)
新	カ 子育て世帯訪問支援事業(旧:養育支援訪問事業(家事・育児支援))
	キ 利用者支援に関する事業(保育サービスコンシェルジュ事業 等)
	ク 地域子育て支援拠点事業 (親子ふれあいルーム、地域子育て支援センター等)
	ケ 子育て短期支援事業(ショートステイ事業)
	コ 一時預かり事業 (ア:幼稚園型 イ:その他 一時預かり事業、シン・子育てファミリー・サポート事業【就学前児童分】、トワイライトステイ事業)
新	サ こども誰でも通園制度
	シ 時間外保育事業(延長保育事業)
	ス 病児保育事業
	セ 子育て援助活動支援事業 (シン・子育てファミリー・サポート事業【就学後児童分】)
	ソ 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)
	タ 要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業など
3 乳児・幼児期の教育や保育の一体的提供及び推進体制の確保	
	(1)認定こども園について
	(2)教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の役割、必要性とその推進
	(3)教育・保育施設と地域型保育事業、小学校との連携
【参考】令和7年から令和11年までの推計児童数	

北九州市子ども・子育て支援事業計画

北九州市子ども・子育て支援事業計画とは、子ども・子育て支援法第61条に基づき、国が示す基本方針に即して、5年を1期として定める計画です。

令和2年度を始期とする計画が令和6年度で終了することに伴い、令和7年度を始期とする計画を改めて作成するものです。

なお、計画の構成は大きく分けて、

1. 乳児・幼児期の教育や保育の推進
2. 地域における子ども・子育て支援の推進

となっており、それぞれの具体的な取り組みについて、過去実績等から見込んだ今後5年間の「量の見込み」と、それを充足するための「確保の方策」などを掲載しています。

1 乳児・幼児期の教育や保育の推進

(1) 教育・保育の提供区域の設定

教育・保育の提供区域は、行政区(門司区、小倉北区、小倉南区、若松区、八幡東区、八幡西区、戸畑区)を単位として設定します。

※「教育・保育」とは、幼稚園、認定こども園、保育所の施設と、家庭的保育、小規模保育、事業所内保育、居宅訪問型保育の事業を指します。

(2) 教育・保育の「量の見込み」と「確保の方策」

量の見込みは、「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」の実績(令和2～5年度)から推計した認定区分ごとの各年度の利用意向率に、令和7～11年までの推計児童数を乗じて算定しました。

教育・保育の「量の見込み」と「確保の方策」

【市全域】

年度	R7年度					R8年度					R9年度				
	1号 ※教育を希望する2号 を含む	2号	3号			1号 ※教育を希望する2号 を含む	2号	3号			1号 ※教育を希望する2号 を含む	2号	3号		
			3～5歳児	2歳児	1歳児			0歳児	3～5歳児	2歳児			1歳児	0歳児	3～5歳児
量の見込み(a)	9,837人 (3,793人)	8,910人	2,857人	3,234人	2,485人	9,396人 (3,637人)	8,653人	2,692人	3,494人	2,510人	8,837人 (3,431人)	8,312人	2,835人	3,571人	2,536人
確保の方策(b)	10,919人	9,553人	3,056人	3,436人	2,645人	11,002人	9,379人	2,918人	3,721人	2,690人	11,029人	9,157人	3,089人	3,810人	2,744人
教育・保育施設	10,919人	9,553人	2,625人	3,056人	2,402人	11,002人	9,379人	2,487人	3,341人	2,447人	11,029人	9,157人	2,658人	3,430人	2,501人
地域型保育事業			431人	380人	243人			431人	380人	243人			431人	380人	243人
(b)-(a)	1,082人	643人	199人	202人	160人	1,606人	726人	226人	227人	180人	2,192人	845人	254人	239人	208人
推計児童数(c)			5,729人	5,384人	5,532人			5,334人	5,590人	5,452人			5,538人	5,510人	5,383人
保育利用率の目標(b)/(c)			53.3%	63.8%	47.8%			54.7%	66.6%	49.3%			55.8%	69.1%	51.0%
【参考】(a)/(c)			49.9%	60.1%	44.9%			50.5%	62.5%	46.0%			51.2%	64.8%	47.1%

年度	R10年度					R11年度				
	1号 ※教育を希望する2号 を含む	2号	3号			1号 ※教育を希望する2号 を含む	2号	3号		
			3～5歳児	2歳児	1歳児			0歳児	3～5歳児	2歳児
量の見込み(a)	8,445人 (3,283人)	8,111人	2,833人	3,650人	2,569人	8,270人 (3,228人)	8,071人	2,835人	3,735人	2,597人
確保の方策(b)	10,849人	9,041人	3,113人	3,920人	2,799人	10,883人	9,045人	3,129人	4,012人	2,835人
教育・保育施設	10,849人	9,041人	2,682人	3,540人	2,556人	10,883人	9,045人	2,698人	3,632人	2,592人
地域型保育事業			431人	380人	243人			431人	380人	243人
(b)-(a)	2,404人	930人	280人	270人	230人	2,613人	974人	294人	277人	238人
推計児童数(c)			5,458人	5,441人	5,327人			5,389人	5,385人	5,268人
保育利用率の目標(b)/(c)			57.0%	72.0%	52.5%			58.1%	74.5%	53.8%
【参考】(a)/(c)			51.9%	67.1%	48.2%			52.6%	69.4%	49.3%

()内の数値は、教育を希望する2号の人数(1号の内数)

※各区分も同様に作成(【市全域】の数値は、各区の積上げ)

2 地域における子ども・子育て支援の推進

ア 妊婦健康診査

妊婦健康診査は、妊婦がおのこの希望する医療機関等を選択しており、また、里帰り等で県外で健診した場合は償還払いを実施していることから、提供区域は、全域(国内)として設定します。

量の見込みは、「健康診査実施率」(実施人数/0歳の児童数)の過去の実績(令和2～5年度)の平均値(99.8%)を、各年度の推計児童数(0歳)に乗じて算出しました。健診回数は、過去の実績(令和2～5年度)から、一人あたり平均利用回数(12.4回)を算出し、上記人数に乗じました。

	R7	R8	R9	R10	R11
量の見込み	5,521人	5,441人	5,372人	5,316人	5,257人
	68,460回	67,468回	66,613回	65,918回	65,187回
確保の方策	〔実施場所・実施体制〕産科・助産所(国内全域) 〔実施機関〕北九州市				

【量の実績】

R2	R3	R4	R5	R6(見込)
6,492人	6,164人	5,463人	5,410人	5,400人
78,522回	74,722回	73,172回	65,427回	65,000回

イ 乳幼児健康診査(本プランより追加)

乳幼児健康診査は、市内の登録医療機関から希望する医療機関を選択して受診できるため、提供区域は市全域として設定します。

量の見込みは、4か月児健康診査、7か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査の受診者の合計人数とし、各年度の推計児童数(0歳児×2、1歳児、3歳児を合計した人数)に、「健康診査実施率」の過去の実績(令和2～5年度)の平均値(97.9%)を乗じて算出しました。

	R7	R8	R9	R10	R11
量の見込み	22,158人	21,731人	21,133人	21,154人	20,906人
確保の方策	〔実施場所・実施体制〕登録医療機関(市内106か所) 〔実施機関〕北九州市				

ウ 産後ケア事業（本プランより追加）

産後ケア事業は、利用者がおのこの希望する事業所を選択しており、また、里帰り等で県外で利用した場合は償還払いを実施していることから、提供区域は、全域(国内)として設定します。

量の見込みは、「産後ケア事業利用率」(利用者実人数/0歳の児童数)の過去の実績(令和3～5年度)の平均値(20%)を、推定児童数(0歳)に乘じ、令和6年度に利用者負担を半額にすることから利用者が増える見込みのため、さらに2を乘じました。回数は、過去の実績から、一人あたり平均利用回数(2.6回)を算出し、上記人数に乘じました。

		R7	R8	R9	R10	R11
量の見込み	人数	2,213人	2,181人	2,153人	2,131人	2,107人
	回数	5,754回	5,671回	5,598回	5,541回	5,478回
確保の方策		〔実施場所・実施体制〕産科・助産所等（市内27か所他） 〔実施機関〕北九州市				

エ 乳児家庭全戸訪問事業

乳児家庭全戸訪問事業は、居住区外への里帰り分娩も含め、各区間で連絡調整しつつ、4か月までの乳児のいる家庭全世帯へ訪問することから、提供区域は市全域を単位として設定します。

量の見込みは、過去の実績(令和2～5年度)から算出した訪問率の平均値(93.4%)を推計児童数(0歳)に乘じて算出しました。

	R7	R8	R9	R10	R11
量の見込み	5,167人	5,092人	5,028人	4,975人	4,920人
確保の方策	〔実施体制〕386人体制 〔実施機関〕北九州市				

【量の実績】

R2	R3	R4	R5	R6（見込）
6,004人	6,006人	5,640人	5,463人	5,202人

オ 養育支援訪問事業(専門的相談支援)

養育支援訪問事業は、全市統一の訪問基準により、保健師等(区)や専門機関(市)が連携しながら専門的支援を行っていることから、提供区域は市全域を単位として設定します。

量の見込みは、過去の実績(令和2～5年度)から算出した利用率(利用人数/0～3歳の児童数)の平均値(10.69%)を、推計児童数(0～3歳)に乘じて算出しました。

	R7	R8	R9	R10	R11
量の見込み	2,441人	2,360人	2,324人	2,324人	2,296人
確保の方策	〔実施体制〕117人体制 〔実施機関〕北九州市				

【量の実績】

R2	R3	R4	R5	R6（見込）
2,728人	2,758人	2,735人	3,091人	2,522人

カ 子育て世帯訪問支援事業(旧:養育支援訪問事業(家事・育児支援))

子育て世帯訪問支援事業は、民間の事業者に委託して、全市統一の基準に基づいた支援を行っていることから、提供区域は市全域を単位として設定します。

量の見込みは、養育支援訪問事業(家事・育児支援)における過去の実績(令和3～5年度)の平均値により算出しました。

※育児・家事支援は令和6年4月からの改正児童福祉法施行に伴い、養育支援訪問事業から削除され、子育て世帯訪問支援事業として実施することになりました。

	R7	R8	R9	R10	R11
量の見込み	183人	183人	183人	183人	183人
確保の方策	〔実施体制〕 110人体制 〔実施機関〕 北九州市				

【量の実績】

R2	R3	R4	R5	R6（見込）
157人	180人	220人	150人	140人

キ 利用者支援に関する事業(保育サービスコンシェルジュ事業 等)

利用者支援事業は、行政区をまたぐ入所希望や相談等が想定されることから、提供区域は市全域を単位として設定します。

量の見込みは、行政区を一つのまとまりとして情報を集約し、利用者の相談等に応じることから、各区1か所を基本に設定しました。なお、基本型・特定型(保育サービスコンシェルジュ)については、女性の就業・子育ての両立を支援するため、各区に加え、小倉北区 AIM ビル内のウーマンワークカフェに1か所設置しており、合計8か所とします。

※児童福祉法の改正により、「利用者支援事業(こども家庭センター型)」が新たに創設されました。

		R7	R8	R9	R10	R11
量の見込み	基本型・特定型	8か所	8か所	8か所	8か所	8か所
	こども家庭センター型	7か所	7か所	7か所	7か所	7か所
確保の方策	基本型・特定型	8か所	8か所	8か所	8か所	8か所
	こども家庭センター型	7か所	7か所	7か所	7か所	7か所

【量の実績】

	R2	R3	R4	R5	R6（見込）
基本型・特定型	8か所	8か所	8か所	8か所	8か所
母子保健型	7か所	7か所	7か所	7か所	7か所

ク 地域子育て支援拠点事業(親子ふれあいルーム、地域子育て支援センター 等)

地域子育て支援拠点事業は、住所地にかかわらず利用することができるため、提供区域は市全域を単位として設定します。

量の見込みは、1年前の年度の利用回数に、推計児童数(0～2歳)の対前年増減率を乗じて算出しました。(利用回数は、児童数の一定割合で推移しており、人口の増減がそのまま利用回数に影響すると考えられるため。)なお、親子ふれあいルームの見込みについては、今後の運営の充実及びPRによる利用増(毎年1%増)を加味しています。

		R7	R8	R9	R10	R11
量の見込み		46,980人回	47,068人回	47,443人回	47,594人回	47,766人回
確保の方策	地域子育て支援拠点事業および類似の施設・事業	18か所				
	その他の施設・事業	令和11年度までに130か所				

【量の実績】

R2	R3	R4	R5	R6 (見込)
25,978人回	26,702人回	29,245人回	44,108人回	46,404人回

ケ 子育て短期支援事業(ショートステイ事業)

子育て短期支援事業(ショートステイ事業)は、受入先となる児童養護施設等の施設が限られており、求められる量を確保するには広域で対応する必要があるため、提供区域は市全域を単位として設定します。

令和6年度からは受入先に里親と母子生活支援施設が加わりました。量の見込みは、過去の利用実績(令和2～5年度)をもとに想定される利用日数を、受入先の拡大分を加味した上で見込みました。

	R7	R8	R9	R10	R11
量の見込み	1,000人日	1,000人日	1,000人日	1,000人日	1,000人日
確保の方策	22か所	22か所	22か所	22か所	22か所

【量の実績】

R2	R3	R4	R5	R6 (見込)
528人日	554人日	708人日	644人日	1,006人日

コ 一時預かり事業

(ア)幼稚園型

一時預かり事業(幼稚園型)の実施施設である私立幼稚園は、区域を越えて広範囲にわたって園児を受け入れているため、提供区域は市全域を単位として設定します。

量の見込みは、今後5年間の推計児童数の減少率に、直近5年間の利用実績の伸び率から算出しました。幼稚園の総数は今後増減する見込みはほとんどないため、計画期間における変動は無いものとしています。

	R7	R8	R9	R10	R11
量の見込み	592,462人日	603,423人日	614,586人日	625,956人日	637,536人日
確保の方策	800,000人日	800,000人日	800,000人日	800,000人日	800,000人日

【量の実績】

R2	R3	R4	R5	R6 (見込)
439,969人日	521,173人日	518,659人日	541,365人日	581,701人日

(イ)その他

(一時預かり事業、子育て援助活動支援事業(シン・子育てファミリー・サポート事業【就学前児童分】)、トワイライトステイ事業)

一時預かり事業、シン・子育てファミリー・サポート事業、トワイライトステイ事業は、保護者が希望する事業等を広範囲から選択していることから、提供区域は市全域として設定します。

一時預かり事業は、前年度の利用日数に推計児童数(0～5歳)の対前年増減率を乗じて算出しました。

シン・子育てファミリー・サポート事業の量の見込みは、前年度の利用日数に推計児童数(0～5歳)の対前年増減率を乗じて算出しました(人口の増減が利用日数に影響すると考えられるため)。なお、今後の制度拡充及びPRによる利用増(毎年度に1割増)を加味しています。

トワイライトステイ事業については、過去2年(令和4～5年度)の利用実績をもとに想定される利用日数を見込みました。なお、事業周知による利用日数の増加(1割増)を見込んでいます。

※ほっと子育てふれあい事業は、令和6年度の制度拡充に伴い、「シン・子育てファミリー・サポート事業」として実施することになりました。

		R7	R8	R9	R10	R11
量の見込み(a)	一時預かり事業	14,725人日	14,286人日	13,917人日	13,553人日	13,366人日
	シン・子育てファミリー・サポート	5,690人日	6,088人日	6,539人日	7,023人日	7,627人日
	トワイライト	150人日	150人日	150人日	150人日	150人日
	計	20,565人日	20,524人日	20,606人日	20,726人日	21,143人日
確保の方策(b)	一時預かり事業	36,452人日	36,265人日	36,107人日	35,952人日	35,872人日
	シン・子育てファミリー・サポート	5,690人日	6,088人日	6,539人日	7,023人日	7,627人日
	トワイライト	150人日	150人日	150人日	150人日	150人日
	計	42,292人日	42,503人日	42,796人日	43,125人日	43,649人日

【量の実績】

	R2	R3	R4	R5	R6（見込）
一時保育	7,604人日	6,879人日	7,479人日	6,840人日	6,534人日
ほっと子育て	3,257人日	4,327人日	4,960人日	5,363人日	5,524人日
トワイライト	0	40人日	138人日	130人日	74人日
計	10,861人日	11,246人日	12,577人日	12,333人日	12,132人日

サ こども誰でも通園制度（本プランより追加）

全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化するため、月一定時間までの利用可能枠の中で保護者の就労有無を問わず時間単位で利用できる新たな通園制度「こども誰でも通園制度」を実施します。

なお、提供体制、量の見込みについては、北九州市の状況や国の動向等を踏まえながら検討していきます。

シ 時間外保育事業(延長保育事業)

時間外保育事業(延長保育事業)は、全市単位で必要量を確保するよう実施してきていることから、提供区域は市全域を単位として設定します。

量の見込みは、前年度の利用実績に入所児童数の増減率を乗じて算出しました。

	R7	R8	R9	R10	R11
量の見込み	7,135人	6,647人	6,193人	5,769人	5,375人
確保の方策	7,135人	6,647人	6,193人	5,769人	5,375人

【量の実績】

	R2	R3	R4	R5	R6（見込）
実人数	1,317人	931人	790人	738人	773人
延べ人数	13,554人	10,155人	8,394人	8,221人	7,659人

※現行プラン策定時の量の見込みは、実人数で算出していますが、本プランでは、延べ人数で算出しています。

ス 病児保育事業

病児保育事業は、住所地にかかわらず、各区に設置している実施医療機関を利用することができるため、提供区域は市全域を単位として設定します。

量の見込みは、利用料無償化施策等による利用者の増加を踏まえ、令和5年度の利用率(児童数に対する利用者数の割合。利用者数には受入れをお断りした件数を含む。)をもとに、今後の推計児童数を乗じて算出しました。

	R7	R8	R9	R10	R11
量の見込み	16,676人日	16,203人日	15,734人日	15,238人日	14,805人日
確保の方策	24,528人日	24,528人日	24,528人日	24,528人日	24,528人日
	(14か所)	(14か所)	(14か所)	(14か所)	(14か所)

【量の実績】

R2	R3	R4	R5	R6 (見込)
3,595人日	5,908人日	6,896人日	13,221人日	13,632人日

セ 子育て援助活動支援事業(シン・子育てファミリー・サポート事業【就学後児童分】)

シン・子育てファミリー・サポート事業は、保護者が、希望する事業等を広範囲から選択していることから、提供区域は市全域として設定します。

量の見込みは、前年度の利用日数に推計児童数(6～11歳)の対前年増減率を乗じて算出しました(人口の増減が利用日数に影響すると考えられるため)。なお、今後の制度拡充及び PR による利用増(毎年度に1割増)を加味しています。

	R7	R8	R9	R10	R11
量の見込み	2,325人日	2,495人日	2,667人日	2,838人日	3,008人日
確保の方策	2,325人日	2,495人日	2,667人日	2,838人日	3,008人日

【量の実績】

R2	R3	R4	R5	R6 (見込)
1,368人日	1,761人日	1,941人日	2,153人日	2,218人日

ソ 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)

放課後児童クラブの全児童化(希望する全ての児童に対し、授業の終了後等の適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る)の方針に沿って、既に受入れ体制の整備が完了しており、その後は各クラブの受入状況に合わせて随時対応していることから、提供区域は、校区ごとに設定する必要はなく、市全域を単位とします。

量の見込みについて、新入生(小学1年生)は、令和6年度の利用率(登録児童数/児童数)を、各年度0.8%増(令和5→6年度の伸び率)で見込み、令和6年度の児童数に乗じて算出しました。小学2年生以降は、児童が次の学年に上がってもクラブの利用(登録)を続けている割合(定着率)を、過去の実績(令和5～6年度)から算出し、1学年前の登録児童数に乗じて算出しました。

		R7	R8	R9	R10	R11
量の見込み	1年生	3,699人	3,754人	3,808人	3,862人	3,916人
	2年生	3,382人	3,432人	3,482人	3,533人	3,583人
	3年生	2,743人	2,766人	2,808人	2,849人	2,890人
	4年生	1,914人	1,874人	1,890人	1,919人	1,947人
	5年生	1,055人	1,146人	1,122人	1,132人	1,148人
	6年生	538人	619人	672人	658人	663人
	計	13,331人	13,591人	13,782人	13,953人	14,147人
確保の方策		13,331人	13,591人	13,782人	13,953人	14,147人
		(130か所)	(130か所)	(130か所)	(130か所)	(130か所)

【量の実績】

	R2	R3	R4	R5	R6(見込)
1年生	3,604人	3,546人	3,620人	3,614人	3,645人
2年生	3,296人	3,137人	3,239人	3,424人	3,353人
3年生	2,744人	2,361人	2,355人	2,580人	2,801人
4年生	1,716人	1,544人	1,454人	1,532人	1,763人
5年生	1,035人	740人	823人	800人	917人
6年生	528人	344人	423人	470人	469人
計	12,923人	11,672人	11,914人	12,420人	12,948人

タ 要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業など

サポートが必要な子どもや子育て家庭、妊産婦等にとってより良い支援が受けられるよう、要保護児童対策地域協議会をはじめとし、医療、保健・福祉、司法、行政など関係機関との連携強化を図ります。また、関係職員を対象とした研修にも取り組み、専門性の向上に努めます。

なお、具体的な取り組みは、施策8「社会的養護が必要な子どもや家庭に対する取組の推進」などに掲載しています。

3 乳児・幼児期の教育や保育の一体的提供及び推進体制の確保

(1) 認定こども園の普及

認定こども園は、幼稚園及び保育所の機能を併せ持ち、保護者の就労状況及びその変化等に関わらず、柔軟に子どもを受け入れられる施設で、令和6年4月現在、65園が設置されています。

北九州市では、既に十分な数の認定こども園が設置されていますが、幼稚園及び保育所が認定こども園への移行を希望する場合は、引き続き情報提供や相談対応等をきめ細かく行います。

(2) 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の役割、必要性とその推進

子育ての第一義的な責任は保護者にありますが、核家族化の進展、地域のつながりの希薄化、共働き家庭の増加など、子育て家庭や子どもの育ちをめぐる環境が変化していく中で、地域や社会が保護者に寄り添い、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援をしていくことが必要です。また、各々が子ども・子育て支援の重要性に対する関心や理解を深め、協働し、それぞれの役割を果たすことも必要です。

特に乳児期における情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得など、乳幼児期の重要性や特性を踏まえた質の高い教育・保育を安定的に提供することが重要です。

加えて、子どもや子育て家庭のおかれた状況や地域の実情を踏まえ、妊娠・出産期からの切れ目ない支援や、幼児期の学校教育・保育・地域における多様な子ども・子育て支援の充実を図る必要があります。

このような子育て支援を総合的・計画的に実施するため、「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、毎年度、進捗状況の把握など点検・評価を行いながら着実に進めていきます。

(3) 教育・保育施設と地域型保育事業、小学校との連携

小規模保育事業等から保育所等への接続、保育所・幼稚園等から小学校への接続は、保護者にも子どもの発達にとっても、より円滑に進むことが望まれます。

そこで、小規模保育事業など地域型保育事業に連携施設を設定することや各区役所に保育サービスコンシェルジュを配置することで、小規模保育事業等から保育所等への円滑な接続を確保していきます。

また、幼稚園・保育所等から小学校への接続については、引き続き、関係機関が保幼小連携推進連絡協議会を設置し連絡・連携体制づくりを進めるとともに、研修会の開催や啓発パンフレットの活用など、さらなる連携の質の向上にも努めていきます。

なお、北九州市こどもプラン(仮)の、施策5「幼児期までの成長を保障する幼児教育・保育の充実」にて取り組んでいきます。

※本計画に掲載していない事項は、子ども・子育て支援法やその基本指針等の関係法令などに従い実施していきます。

■ 令和7年から令和11年までの推計児童数

① 推計児童数の算定の考え方

令和7～11年までの推計児童数は、国の示した「地域行動計画策定の手引き」に基づき算定しました。基礎となる人口のデータは、令和2～6年の本市の住民基本台帳の登録人口(外国人登録を含む)を使用しました。なお、今回示したのは推計値であり、今後の出生の動向などにより誤差が生じるおそれがあります。

② 推計児童数(各年4月1日の児童数)

●市全域

年齢		R7	R8	R9	R10	R11
0～5歳	0歳	5,532人	5,452人	5,383人	5,327人	5,268人
	1歳	5,384人	5,590人	5,510人	5,441人	5,385人
	2歳	5,729人	5,334人	5,538人	5,458人	5,389人
	3～5歳	18,934人	18,146人	17,195人	16,523人	16,255人
	計	35,579人	34,522人	33,626人	32,749人	32,297人
6～11歳		44,211人	43,003人	41,655人	40,162人	38,542人

●門司区

年齢		R7	R8	R9	R10	R11
0～5歳	0歳	409人	399人	391人	384人	374人
	1歳	420人	437人	427人	419人	412人
	2歳	463人	426人	443人	433人	425人
	3～5歳	1,611人	1,526人	1,466人	1,383人	1,353人
	計	2,903人	2,788人	2,727人	2,619人	2,564人
6～11歳		4,029人	3,911人	3,718人	3,573人	3,425人

●小倉北区

年齢		R7	R8	R9	R10	R11
0～5歳	0歳	1,157人	1,142人	1,129人	1,120人	1,111人
	1歳	1,064人	1,101人	1,086人	1,073人	1,064人
	2歳	1,116人	1,016人	1,052人	1,037人	1,024人
	3～5歳	3,487人	3,290人	3,095人	2,977人	2,905人
	計	6,824人	6,549人	6,362人	6,207人	6,104人
6～11歳		7,644人	7,477人	7,235人	6,948人	6,674人

●小倉南区

年齢		R7	R8	R9	R10	R11
0～5歳	0歳	1,350人	1,328人	1,312人	1,295人	1,279人
	1歳	1,310人	1,374人	1,352人	1,336人	1,319人
	2歳	1,406人	1,298人	1,361人	1,339人	1,323人
	3～5歳	4,658人	4,447人	4,250人	4,080人	4,013人
	計	8,724人	8,447人	8,275人	8,050人	7,934人
6～11歳		10,683人	10,450人	10,131人	9,803人	9,410人

●若松区

年齢		R7	R8	R9	R10	R11
0～5歳	0歳	450人	444人	438人	436人	432人
	1歳	464人	475人	469人	463人	461人
	2歳	504人	481人	492人	486人	480人
	3～5歳	1,685人	1,625人	1,558人	1,503人	1,485人
	計	3,103人	3,025人	2,957人	2,888人	2,858人
6～11歳		4,073人	3,932人	3,788人	3,684人	3,504人

●八幡東区

年齢		R7	R8	R9	R10	R11
0～5歳	0歳	295人	290人	285人	282人	279人
	1歳	269人	308人	303人	298人	295人
	2歳	344人	270人	309人	304人	299人
	3～5歳	1,144人	1,131人	997人	965人	921人
	計	2,052人	1,999人	1,894人	1,849人	1,794人
6～11歳		2,870人	2,796人	2,734人	2,615人	2,539人

●八幡西区

年齢		R7	R8	R9	R10	R11
0～5歳	0歳	1,520人	1,500人	1,481人	1,467人	1,454人
	1歳	1,498人	1,541人	1,521人	1,502人	1,488人
	2歳	1,550人	1,491人	1,534人	1,514人	1,495人
	3～5歳	5,266人	5,068人	4,778人	4,579人	4,543人
	計	9,834人	9,600人	9,314人	9,062人	8,980人
6～11歳		12,425人	12,010人	11,657人	11,217人	10,730人

●戸畑区

年齢		R7	R8	R9	R10	R11
0～5歳	0歳	351人	349人	347人	343人	339人
	1歳	359人	354人	352人	350人	346人
	2歳	346人	352人	347人	345人	343人
	3～5歳	1,083人	1,059人	1,051人	1,036人	1,035人
	計	2,139人	2,114人	2,097人	2,074人	2,063人
6～11歳		2,487人	2,427人	2,392人	2,322人	2,260人